

平成21年度 地方の元気再生事業 事業実施調査書

(1) 取組名	「～伊勢志摩地域の歴史・文化資源を紡ぐ～ 国際観光・海洋文化都市鳥羽の創造にむけて(海の国再生事業)」		
(2) 実施団体名	鳥羽元気再生事業推進協議会	(3) 対象地域	三重県鳥羽市鳥羽港・市街地エリア
(4) 代表団体名	鳥羽商工会議所	(5) 推薦団体名	

(6) 実施した取組の内容	取組①	マリンタウンエリア～中心市街地の賑わいづくり		
	実施主体	主担当：鳥羽旅館事業協同組合、鳥羽商店会協同組合		
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画		実際の取組内容及びその結果
		内容 ①鳥羽マリンタウン21事業エリア(港湾整備、商業再開発地区)～中心市街地エリア(九鬼水軍の歴史文化が残る拠点;まちづくり交付金事業整備)の交流客の増加による賑わいづくりと市街地でのみなとまち歴史文化(文学館、資料館)散策による観光交流客の増加 ②マリンタウンエリア～中心市街地における昼夜の魅力アップにつながる仕掛けづくり 地域住民と観光客の交流できる拠点(複数)をつくり集いの空間、旅館と商店街の連携により海の食材を利用した食べ歩きできるファーストフードを開発する。視覚、聴覚、嗅覚を刺激した演出を提供する。 ③観光客の誘導に係る実証実験 観光施設やホテルとの連携による夜間巡回バスの実施実験 ④地方の元気を応援する人材ネットワークを活用した人材育成・成功事例紹介セミナーの開催		・実施時期:8月2日～10日 ・実施場所:鳥羽マリンパーク～てんすうくん会館(岩崎通り) ①②③ 8月2日～10日にかけてまち歩き促進のための社会実験「ビバ! VIVA! 遊び場とば」を実施。鳥羽マリンパークからてんすうくん会館までを結ぶ岩崎町を中心に昼間はポケモンを利用したスタンプラリーでのまち歩きの促進をはかり、夜間はキャンドルでの演出やマリンパークでのステージイベントで市民・観光客の街中への誘導を図った。 ポケモンウォークラリー参加者に鳥羽の歴史文化まち歩きマップも併せて配布し、観光交流客の増加を図った。 期間中ポケモンウォークに参加した子供は約1000人。 夜間はキャンドルでの演出のほか、水中照明とナイトクルーズ(取組②)と開催時期を併せ旅館のバスによる会場までの送迎を実施。夜間の観光交流客の増加を図った。 ②④ コミュニティFMレディオ湘南で活躍されているパーソナリティーDJ・HAGGY氏(萩原 浩一氏:茅ヶ崎市観光協会観光アドバイザー)を招き、「コミュニティFMと地域の関わり方」についての講習を開催。また、「ビバ! VIVA! 遊び場とば」期間中、会場に特設スタジオを設け、催し物の状況を放送するなどの情報発信を行い、音声・音楽による市民・観光客の街中への誘導、岩崎通りを歩く観光客の歓迎空間の演出を行った。
		取組②		海の駅構想
		実施主体	主担当：鳥羽市	
	実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画		実際の取組内容及びその結果
		内容 ①海からの鳥羽と伊勢の国の歴史文化を活かし、新たな海上ルートの商品化 鳥羽の離島、鳥羽～伊勢、鳥羽商船～鳥羽港～海の博物館等、鳥羽の歴史・文化を活かした複数の観光ルートの商品化を図る ②夏の鳥羽湾海上遊覧からのまちなみ夜景眺望を活かした商品開発。 夏期に開催される毎夜花火に併せ離島景観演出を行い、ナイトクルーズの商品化に向けた実証実験を行う。 ③観光メディアコンテンツの検討・仮設置による実証実験 これまでの検討結果を基に、仮設置による実証実験を行い観光客のニーズに即した観光案内メディアコンテンツを策定する。		② ・実施時期:8月1日～15日 ・実施場所:カモメの散歩道 8月1日～15日にかけて、カモメの散歩道を鳥羽湾からライトアップする水中照明を設置(期間中の歩行者約1300人)。鳥羽旅館組合が行っている毎夜連続花火とも合わせ夜間の海上遊覧を実施し、商品化の可能性を探った。 開催期間中は参加者約500名であり、商品化に向けては、コース・料金を再検討する必要がある。
		取組③		九鬼嘉隆TVドラマ化推進、郷土史の意識の高揚
		実施主体	主担当：鳥羽商工会議所	
実施内容、実施結果	当初提案により予定していた計画		実際の取組内容及びその結果	
	内容：郷土史会を立ち上げ、前年に構築した三田、綾部、熊野との連携をより強化し、さらに村上水軍、韓国・李舜臣との連携を計り、フォーラムを開催する。また、メディアを活用したコンテンツ(HP、PRビデオ、子ども用の小冊子等)を作成し情報発信を強化する。 ①九鬼水軍・郷土の偉人、歴史文学等を調査研究・啓発普及するための郷土史会の発足 ②九鬼水軍、村上水軍、松浦水軍をはじめとした水軍サミットフォーラムの開催と交流連携 ③豊臣期での九鬼水軍・日本丸と朝鮮水軍の雄、李舜臣・亀甲船との海戦の歴史文化を活かした永久友好平和交流につながるシンポジウム開催 ④TVドラマ化へ向けた九鬼水軍の歴史小説、脚本製作へ向けた取り組み ⑤市民、観光客への啓発普及促進のための資料作成(小冊子、PRビデオ、絵本、紙芝居等)		・実際に行った取り組み 鳥羽ガイドボランティア、鳥羽市文化財調査委員、鳥羽市老人会連合会、鳥羽市自治会連合会のメンバーが中心となり、郷土史会を設立。(3月7日設立総会開催予定) 11月29日(日)「壬辰倭乱(文禄・慶長の役)と日本水軍フォーラム」李舜臣、村上、九鬼水軍の実像に迫る”を開催。基調講演に「韓国民としての李舜臣像と今後の国際文化交流の在り方」として講師・柳洲烈氏(元駐大韓民国名古屋総領事)を招きフォーラムには定員150名を超える220名が詰めかけた。パネルディスカッションでは、コーディネーターに貫井正之氏文(名古屋外国語大学)を迎え、大成経凡氏(NPO法人能鳥の里を発展させる会理事)、九鬼家隆氏(熊野本宮宮司)らパネラー5名より九鬼水軍・日本丸と朝鮮水軍の雄、李舜臣・亀甲船との海戦の歴史や、戦国時代における水軍の歴史文化に関するディスカッションを行った。 11月21日(土)より旧鳥羽小学校において九鬼嘉隆・水軍展を開催。城山公園において、屋外展示として「日本丸」の帆柱(高さ約15メートル、約50畳分)を再現。水軍展には期間中、約900名が訪れた。また、配布用資料「九鬼水軍」を作成した。	

(7)実施体制	平成21年度の取組実施における体制・役割分担		当初計画からの変更点	
	<p>○鳥羽元気再生事業推進協議会 目的:地域の特色ある鳥羽・志摩・伊勢地域の歴史的・文化的資源等を活用して取り組む地域づくりを基本に、多彩な催しを展開することにより、集客交流の拡大地域の魅力・価値の向上を目指す取組である「国際観光・海洋文化都市の創造(海の国再生事業)」を民間の活力を活かし、多彩かつ重点的な志向で推進し、自立・持続可能な地域づくりにつなげる事業推進の協議会とする。 構成団体 鳥羽商工会議所 鳥羽市 鳥羽旅館事業協同組合 鳥羽商店会協同組合 鳥羽市観光協会 鳥羽磯部漁業協同組合 株式会社 御木本真珠島 株式会社 鳥羽水族館 特定非営利活動法人 伊勢志摩さいこう会</p>		特になし	
(8)取組により得られた成果	○成果1→	港湾部(鳥羽水族館・ミキモト真珠島の来場者:129万人/H20年)旧中心市街地への交流人口の増加		
		H20	H21(当初予定していた目標)	
		1ヶ月間の市街地歩行者数 15900人 年間185000人(鳥羽水族館・ミキモト真珠島の来場者の14.3%) ※市街地歩行者統計調査による推計	実証実験中の歩行者数(1ヶ月間) 19080人(20%増) 年間258000人(鳥羽水族館・ミキモト真珠島の来場者の20%)	
		H21(実際に得られた成果) 交流人口の増加については、期間中のポケモンウォークの参加者(子供)が約1000名ということで、試行期間も短く目標の数字には至らなかったが、会場周辺の歩行者の増加については、一定の成果は上げられた。しかし、食べ歩きメニューの発注が少なかった。満足度を上げるための視覚、聴覚、嗅覚を刺激した演出を提供するといった面では、内容・仕組み等を再検討する必要がある。		
	○成果2→	新たな観光商品の開発		
		H20	H21(当初予定していた目標)	
		昨年度より事業を継続 商品数0本	旅行会社で販売可能な着地型旅行商品 3本	
		H21(実際に得られた成果) 夜間の旅行商品として1本達成した。8月1日～15日にかけて、カモメの散歩道を鳥羽湾からライトアップする水中照明を設置。鳥羽旅館組合が行っている毎夜連続花火とも合わせ夜間の海上遊覧を実施した。開催期間中は参加者約500名であり、商品化に向けては、時間帯・コース・料金を再検討する必要がある。残りの2本については、現在検討を進めている。		
	○成果3→	情報発信の強化、地域住民の意識の醸成、郷土史会の立ち上げ		
		H20	H21(当初予定していた目標)	
	フォーラム参加者 130人 郷土史会会員数(未発足のため) 0人	フォーラム参加者 500人 郷土史会会員数 30人		
	H21(実際に得られた成果) フォーラム参加者は、会場の都合上、当初予定していた500名は達成できなかったが、定員150人を大幅に超える220名が参加した。また、旧鳥羽小学校で開催した九鬼水軍展には10日間で900名を超える人が訪れた。アンケート結果においても大変好評で、市民・観光客に九鬼嘉隆・九鬼水軍のPRすることができ、地域住民の意識の醸成にも効果が得られた。郷土史会の会員は現在、19名で、会員を目標数を50名に上方修正し募集中。2月16日の「広報とば」で市民に周知し、さらなる会員拡大に努める予定。			
○その他の成果→	韓国との文化交流			
	H20	H21(実際に得られた成果)		
	なし	基調講演の講師:柳(ユ)洲烈(ジュヨル)氏(韓国貿易協会貿易経営諮問委員、元駐大韓民国名古屋総領事)を招いたことにより、韓国:李舜臣を素材に文化交流の兆しが生まれ、次年度以降への水軍の文化歴史を生かした日韓文化交流の礎ができた。平成22年度韓国水軍の将李舜臣ゆかりの地「統営市」を訪問予定し、さらなる交流を深めていく。		
(9)今年度の取組成果や活動を踏まえた反省点、改善点	歴史・文化の情報発信の強化により、九鬼嘉隆に関して市内外へのPRとして効果が見られた。また、集客交流における滞留拠点の重要性を再確認し、空間快適性の向上を図るため、ハード整備を計画する際の検討材料が得られた。今後、他の団体との連携を強化するとともに、より有効的な観光客の誘導策及び観光商品の開発について検討していく。			

	当初提案に予定していた平成22年度以降の展開	今年度の取組状況を踏まえた平成22年度以降の活動の見込み
(10)平成22年度以降の活動の見込み	マリントウンエリア～中心市街地の賑わいづくり ・ビジネスモデルの創出 ・空き店舗の新規出店の誘致活動等	まち歩き促進のため、夏の鳥羽湾水中照明の充実と冬のプロムナード(カモメの散歩道)での光の景観演出(観光圏整備事業) 平成22年度鳥羽市が鳥羽湾水中照明での夜間空間演出を予算化(実施主体:鳥羽商工会議所青年部)
	九鬼嘉隆TVドラマ化推進、郷土史の意識の高揚 ・テレビドラマ化に向け継続して活動	郷土史会の発足で歴史文化を活かした、まちづくり・市民運動を展開する。(人材育成・文化機運醸成)
	海の駅構想 ・商品の改良、新商品開発	離島観光を素材に活動しているニューツーリズムの団体(島の旅社、海島遊民クラブ等)との協働で着地型商品の開発・造成を図る(観光圏整備事業)